

国道2号 関門トンネル 連絡調整会議

(第3回)

日時：令和7年12月23日（火）16時30分～17時30分

場所：九州地方整備局 外部会議室

議事次第

1. 新たな事業計画について
2. 意見交換

【配布資料】

- ・新たな事業計画について
- ・意見募集の実施について

【資料1】

【資料2】

国道2号 関門トンネル 連絡調整会議

構成員

(令和7年12月23日時点)

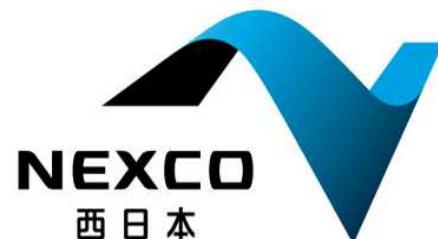
所属名	職名	氏名
国土交通省 中国地方整備局 道路部	部長	大江 真弘
国土交通省 九州地方整備局 道路部	部長	福井 貴規
山口県 土木建築部	部長	仙石 克洋
福岡県 県土整備部	部長	馬渡 真吾
下関市 都市整備部	部長	即席 久弥
北九州市 都市戦略局	局長	小野 勝也
西日本高速道路(株) 九州支社 保全サービス事業部	部長	荒平 裕次

事務局
国土交通省 中国地方整備局 道路部 道路計画課
国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路計画第一課
西日本高速道路(株) 中国支社 総務企画部 企画調整課
西日本高速道路(株) 九州支社 総務企画部 企画調整課

国道2号 関門トンネル 新たな事業計画について

令和7年12月23日

みち、ひと…未来へ。



1.これまでの取組み (前回の連絡調整会議の振り返り)

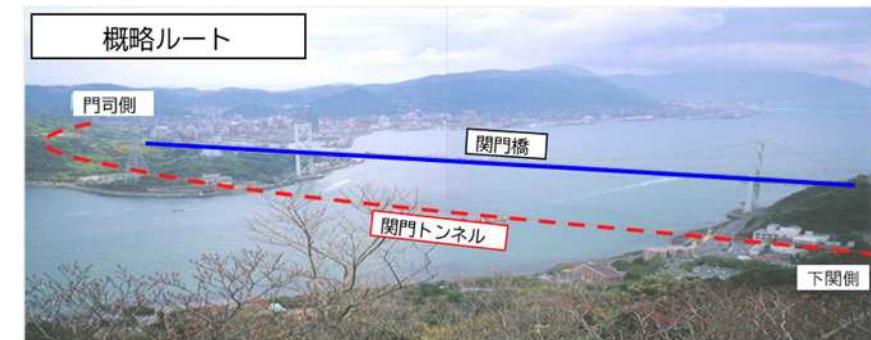
関門トンネルの概要

NEXCO

- ・関門トンネルは、関門海峡を海底トンネルで結ぶ延長3,925m(うちTN延長3,461m)の管理有料高速道路



諸元	
所在地(区間)	山口県下関市～福岡県北九州市
道路名	一般国道2号
本来道路管理者	国土交通省
開通年	昭和33年(1958)3月(開通から67年)
全長／トンネル延長	3,925m／3,461m(うち海底部780m)
車線数	2車線(対面通行)
交通量	約24,900台／日(令和6年度)
現行事業許可期間	平成17年10月1日～令和27年9月30日(40年間)



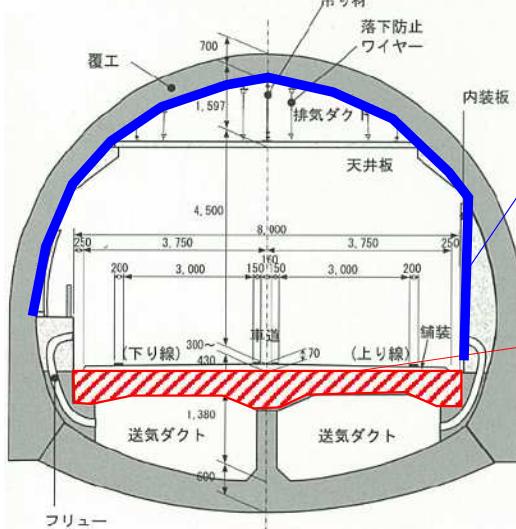
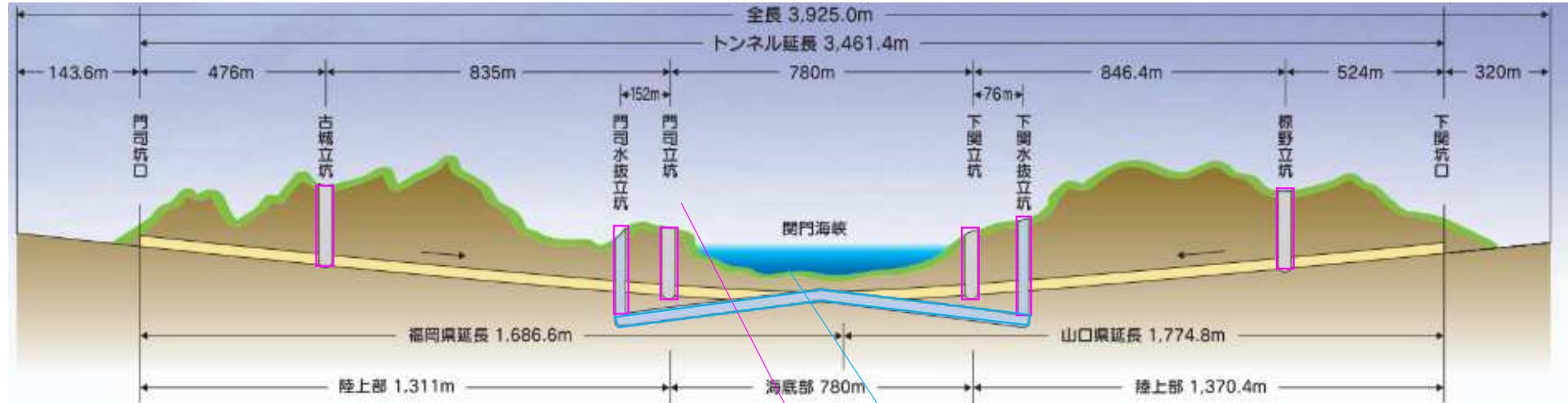
関門トンネルの料金(現行)

普通車	中型車	大型車	特大車	軽自動車等	軽車両等
160円	210円	260円	420円	110円	20円

現在の状況 トンネル構造本体



- ・覆工や床版等は、早期措置が必要な変状は速やかに補修を実施済みですが、多数が部分的な補修となっています。
- ・損傷が大きい海底部の床版については、H21～22に取替を実施しました。<海底部780m/全延長3,461m>



断面図（陸上部）

【覆工、側壁】

- ・浮き・はく離などの変状を確認
- ・劣化進行の要因である漏水も確認



【床版】

- ・陸上部床版の約2.7kmのうち、下関坑口側約0.9kmについては、点検結果・物性値調査等から変状が進行
- ・門司側陸上部・海底部・下関側陸上部（一部）については、鉄筋露出やコンクリートのはく離などの変状を確認



【立坑、パイロット坑】

- ・鉄筋露出やコンクリートのはく離などの変状を確認



<立坑>



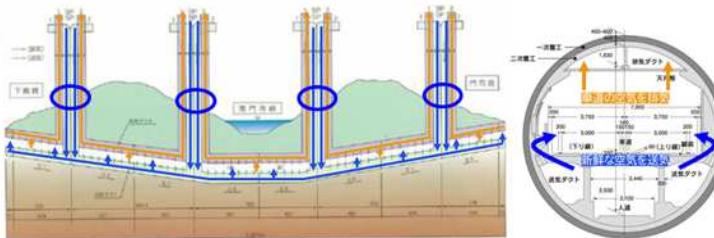
現在の状況 施設設備

NEXCO

- ・閑門トンネルの設備は定期的な分解整備等に加え、適宜更新を実施してきましたが、一部設備では必要な更新ができておらず過去の更新から既に20年以上経過している設備が多い状況となっています。
 - ・これまで行ってきた部分補修の繰り返しでは性能が完全に回復せず補修回数も多くなります。

■換氣設備

- ・換気設備は老朽化のため、更新済み



換氣設備（排風機）



■ 非常用設備

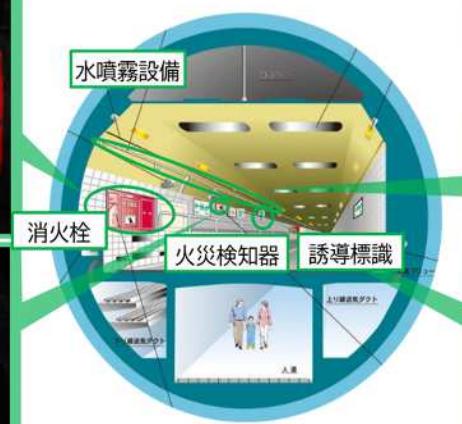
- ・非常用設備は老朽化しているものの分解整備を都度行ってきたため設備更新は未実施
 - ・過去の更新から20年以上経過している設備が多い



経過26年（消火栓栓に発錆あり減肉なし）



経過11年(検知器換に発錆あり、機能上異常なし)



水噴霧設備

経過25年 (配管及びノズルに発錆あり減肉なし)

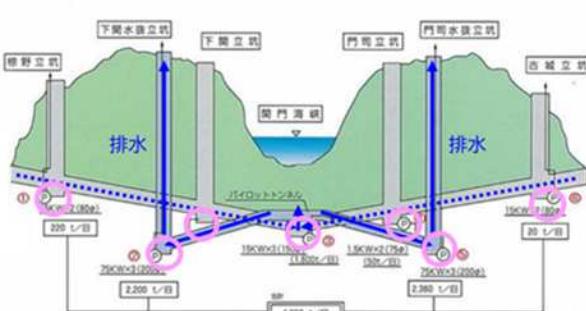
経過25年(配管及びノズルに発錆あり減肉なし)



経過14年（塗装剥がれ、発錆あり）

■ 排水設備

- ・排水設備は老朽化のため、一部更新済み
 - ・設置からの経過年数の違いにより、17基中11基は未更新



- ・閑門トンネルでは、一日あたり約4,800 t (25mプール約16杯相当) の湧水がある
 - ・24時間、20分ごとに17基の排水設備にて地上へ排水している

■ 建築施設

- ・エレベーターは老朽化しているものの分解整備を都度行うことで、設備更新は未実施（過去の更新から28年経過）



昇隆設備



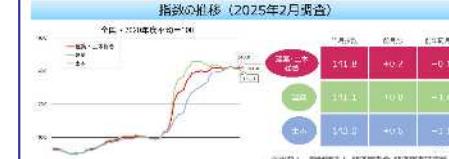
経過28年

今後の対応について

令和7年9月26日
第2回連絡調整会議資料抜粋・編集

- ・関門トンネルの老朽化の進展状況を踏まえると、物価高騰等による維持管理コストの上昇への対応の上、適切な予防保全や修繕を行うとともに、機能向上も実施し、将来20年間にわたり安全安心な道路利用を確保するためには、現行料金に加えて、追加的な利用者負担について検討が必要。
- ・これらを踏まえた対応について、速やかに検討を進めていく。

【関門トンネルにおける今後の維持管理・修繕に関する検討委員会 中間とりまとめ（概要） から抜粋・編集】

①予防保全や更新の実施		②機能向上の実施	③取り巻く環境の変化への対応	④インフラ管理への理解促進の取り組み
内容				
	今後も利用者負担を継続しながら、ライフサイクルマネジメントを意識した予防保全や更新を実施し、長期的な健全性を確保することが必要	必要な財源を確保した上で、安全性、走行性、利便性等の機能向上が必要	建設資材価格・労務費等の上昇等や将来生じる環境の変化に柔軟に対応することが必要	地域活性化の観点に加え、老朽化するインフラ管理への理解促進を図るためにも、理解促進の取り組みも継続的に実施することが必要
具体的な取り組み (写真はすべてイメージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・点検や詳細調査の継続的な実施 ・ライフサイクルマネジメントを意識した予防保全の実施 ・床版の一部や施設設備等の更新の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・料金所部における渋滞緩和・利便性向上 ・トンネル内交通の整流化 ・車線区分構造の設置 ・視認性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・直近までの管理費の実績値等を参考に、適正な管理費用を計画に反映 ・将来の変化には適宜計画を見直しながら対応 ・必要に応じ、料金の見直しについても検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・土木遺産としての価値等を活かしたインフラツーリズムや、地域との連携活動を実施
	<p>■床版取替</p>  <p>■トンネル設備更新</p> 	<p>■料金所部における渋滞緩和・利便性向上</p>  <p>■視認性の向上</p> 	<p>■適正な管理費用を計画に反映</p>  	<p>■継続実施</p>  <p>インフラツーリズム例</p>

2.新たな事業計画

維持管理・修繕の実施

NEXCO

- ・安全・安心な道路空間の確保のため、清掃・点検清掃・交通管理・料金収受等の維持管理や、舗装補修、設備補修等の修繕業務を今後も確実に実施していきます。

清掃・点検・修繕



清掃



点検



設備の分解整備



舗装補修

交通管理

門司側料金所に交通管理隊を配置



イメージ



料金收受



関門トンネル 管理体制

九州支社
北九州高速道路事務所

交通管理隊（門司料金所）

・交通管理

下関・門司料金所

・料金收受

その他グループ会社 等

・構造物及び設備の点検や補修
・敷地管理 等

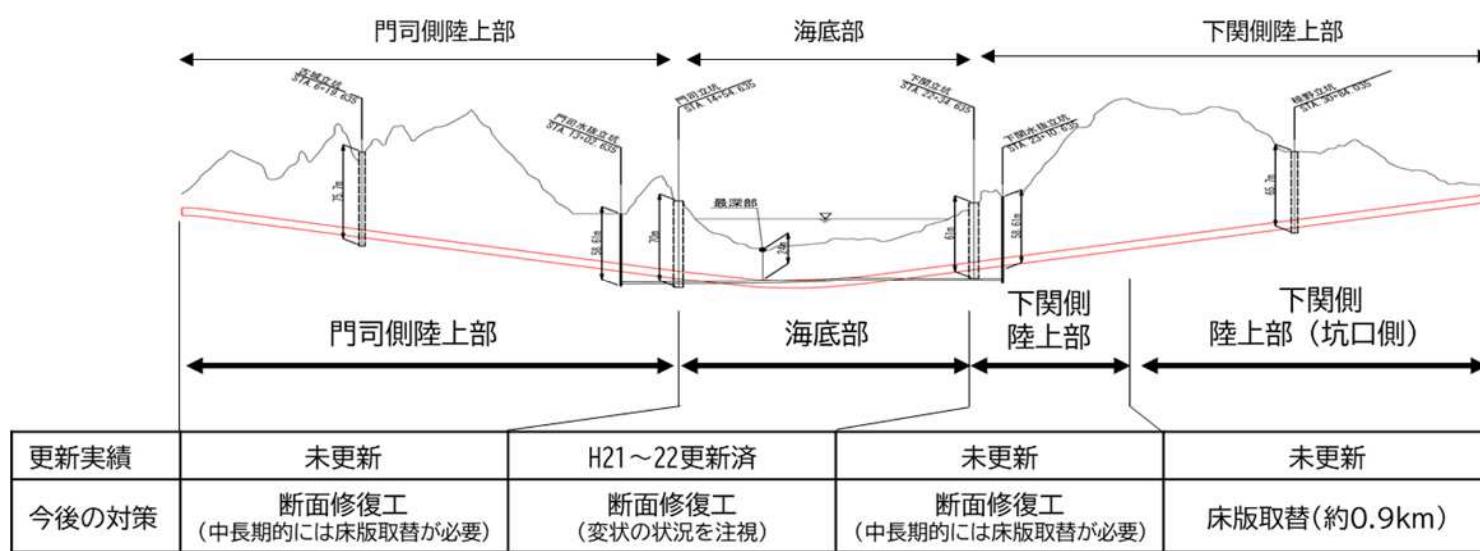
トンネル構造本体における予防保全・更新の実施

NEXCO

- 点検に基づく早期の断面修復・漏水防止等、ライフサイクルマネジメントを強化していきます。
- 下関側陸上部の床版は、変状の進行状況から今後床版取替を計画しています。

【床版取替】

点検結果・物性値調査等から、下関坑口側0.9kmの取替を実施



変状の状況

床版下面のはく離



床版下面の鉄筋露出



【本坑及び立坑等の覆工、側壁の補修】

コンクリートの浮きやはく離などの変状等に対して、断面修復や劣化進行の抑制のための漏水対策を実施



漏水防止シート取付



断面修復工

※写真は修復イメージ

施設設備における更新の実施

NEXCO

- これまで部分補修で対応しており、未更新の施設設備も多い状況です。
- 点検結果を踏まえ、現時点で未更新の設備を中心に、確実に機能が確保できるよう修繕・更新を計画しています。

<現時点で未更新となっている設備>

施設		
<u>トンネル照明設備</u>	車道部・人道部・各立坑 照明灯具 交換（LED化）	 設置から22年経過（約1,000灯） 
<u>トンネル非常用設備</u>	泡消火栓 及び 手動通報機 の更新 水噴霧設備 ・ 消火ポンプ の更新 拡声放送設備 の更新 誘導表示板 の更新 避難連絡坑扉 の更新	 設置から26年経過（約70台）  設置から25年経過（約70台）  設置から26年経過（約78台）
<u>トンネル排水設備</u>	排水ポンプ の更新 ※設置からの経過年数の違いにより、17基中11基は未更新	 設置から14～30年経過（17台）※一部更新済み
<u>建築施設</u>	料金所 及び 換気塔 の耐震補強・改修・改築 関門プラザ（人道等管理施設）耐震補強・改修、 エレベータ 更新	 耐震補強工事（2箇所）  設置から28年経過（関門プラザ 改修）

※更新済みである換気設備等についても、今後20年間で更新時期を迎えるものは更新を実施。

機能向上の実施

NEXCO

- ・料金所部での渋滞緩和・利便性向上のためにETCを導入を計画しています。
- ・トンネル内での交通整流化や事故防止のためにLED表示板やラバーポールの設置を計画しています。
- ・視認性向上のためにLED照明への取替や視線誘導標を設置を計画しています。

【①料金所部での渋滞緩和・利便性向上（ETC導入）】

導入の効果

- ・一時停車し精算する手間が不要でスムーズな通過が可能
- ・タッチレス化・キャッシュレス化が実現でき、利用者の利便性は高い

<現金・回数券>



※イメージ写真

<現金・ETC>



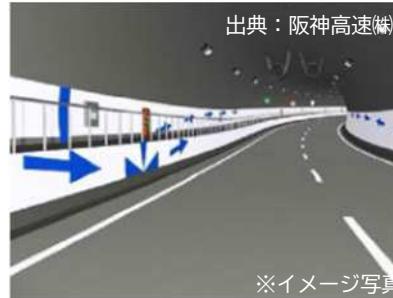
九州自動車道 門司 IC ※イメージ写真

【②トンネル内交通の整流化】

導入の効果

- ・上り坂を認識しやすい
- ・渋滞時には追突防止に関する内容を表示可能

<水平表示>



※イメージ写真

<LED表示板>



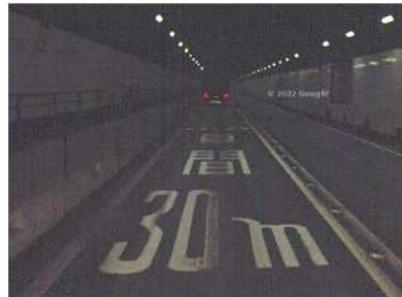
※イメージ写真

【③車線区分構造の設置】

導入の効果

- ・車線区分の視認性が向上
- ※物理的に車線逸脱を防ぐ効果はない

<路面標示のみ>



<ラバーポール>



※イメージ写真

【④視認性の向上】

導入の効果

- ・視認性の向上によるドライバーの走行安全性・快適性向上

<蛍光灯等照明>



<LED照明>



※イメージ写真

※今後詳細設計等で詳細な内容が変わる可能性がある。

大規模な規制を伴う工事について



- ・長期終日通行止めを伴う床版取替やETC設置、照明取替等の工事については、通行止めによる社会的影響を軽減するため、工事の集約化や適切な実施時期を検討して実施していきます。

<床版取替>



<舗装リフレッシュ工事>



<ラバーポール設置>



<照明取替 (LED)>



<ETC設置工事>

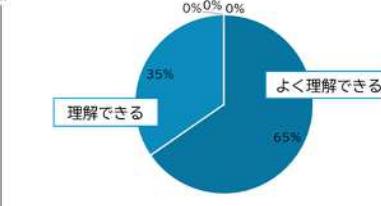


3. 理解促進に向けた取り組み

理解促進に向けた取り組み(現地ツアーの開催)

NEXCO

- ・インフラ管理への理解促進に向け、報道機関や一般の方、利用者団体の方々に現地ツアーを実施しました。
- ・参加者からは「維持管理の大変さを感じた、維持管理の課題があることを知れた」等の意見がありました。

報道機関向けツアー（令和7年8月）	一般向けツアー（令和7年11月）	利用者団体向けツアー（令和7年11月）												
<p>参加者：16社26名 (テレビ7社、新聞8社、ラジオ1社)</p>  <p>＜換気設備での説明＞</p> 	<p>参加者：28名（子供含む）</p> <p>＜排水設備での説明＞</p>  <p>■アンケート結果（26名が回答（小人を除く））</p> <p>【今後の維持管理で期待する対策】 【追加的な利用者負担への理解度】</p> <p>※複数選択可</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>各対策へ期待</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ETC導入</td> <td>38%</td> </tr> <tr> <td>トンネル内事故対策</td> <td>38%</td> </tr> <tr> <td>トンネル内清掃対策</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>トンネル内視認性向上</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>その他 (劣化の保守)</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者全員が理解</p> 	各対策へ期待	回答数	ETC導入	38%	トンネル内事故対策	38%	トンネル内清掃対策	35%	トンネル内視認性向上	19%	その他 (劣化の保守)	4%	 <p>＜追加的な利用者負担の必要性の説明＞</p> 
各対策へ期待	回答数													
ETC導入	38%													
トンネル内事故対策	38%													
トンネル内清掃対策	35%													
トンネル内視認性向上	19%													
その他 (劣化の保守)	4%													
<p>【参加者からのご意見（抜粋）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トンネル立坑、排水ポンプなど、裏側の状況を視察でき、維持・メンテナンスの大変さについて身を持って感じることができた ・詳細な説明を受け閑門トンネルの有料期間を延長した理由がよく分かった 	<p>【参加者からのご意見（抜粋）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トンネルの維持管理に課題があることを知れた ・長らくたくさんの方の努力にやって保ってきたトンネルを今後も安全第一で保ってほしい ・安全や維持の管理がとても大変・大切であることがわかり感謝 	<p>【参加者からのご意見（抜粋）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化、維持の必要性を感じた ・トンネルの安全管理に多くの人が携わっていた ・複雑な機械と老朽化によるコストの補填など必要であると認識できた ・このような機会を増やしていただくようお願い 												

理解促進に向けた取り組み(各種イベントへの出展)

NEXCO

- ・各種イベントにおいて、関門トンネルの概要、維持管理の状況・課題や追加的な利用者負担の必要性に関する説明を実施しました。
- ・参加者からは、維持管理の大変さやETC設置に関する意見等がありました。

土木の日ファミリーフェスタ2025 (令和7年10月福岡市)



パネル設置

来訪者：1,200名程度（子供400名）



第5回海峡レモン祭り（令和7年11月下旬市）

パネル設置、簡易アンケート実施

来訪者：80名程度



九州建設技術フォーラム2025 (令和7年10月福岡市)

ポスターセッション 来訪者：計200名程度



【来訪者からのご意見等（抜粋）】

（九州建設技術フォーラム）

- ・関門トンネルの構造を初めて知った。維持管理が大変そう。
- ・料金徴収をせずにこんな大規模トンネルの維持管理は不可能。料金收受は続けるべき。
- ・周辺道路が混雑している、また、現金だけでは不便なのでETC設備はつけた方がいい。
- ・古いトンネルかつ海底という特殊な環境下であるにも関わらず、通行料金160円は安すぎるのではないか。

（第5回海峡レモン祭り）

簡易アンケート（選択回答式）を実施、81名が回答

Q. 関門トンネルの管理に求めることは？

- A. ・老朽化への対応が必要（追加的な利用者負担あり）50名
- ・サービスの向上が必要（追加的な利用者負担あり）28名
- ・上記は不要（追加的な利用者負担なし）3名



理解促進に向けた取り組み(ポスター・リーフレット)

NEXCO

- 各種媒体において、維持管理や課題、追加的利用者負担に関する広報を実施しています。

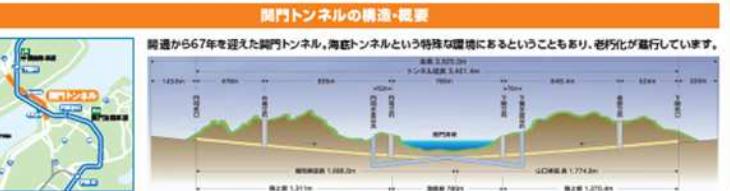
■ポスター・リーフレットの製作・配布 (R7年11月~)

- NEXCO管理施設にポスター提示及びリーフレット配布を実施（関門トンネル料金所や山口や福岡等管内施設）
- 国や各自治体等へ順次配布を実施

**本州と九州をつなぐ大動脈
関門トンネル**



関門トンネルの構造・概要



開通から67年を迎えた関門トンネル、海底トンネルという特殊な環境にあるということもあり、老朽化が進行しています。

これまでの修理・リフレッシュ工事の状況



日常的な維持管理 長期通行止めを伴うリフレッシュ工事

今後の管理に必要な取り組み

将来に適応安全・安心な道路機能を維持するため、また、関門トンネルが抱える課題に対応するために大きく4つの取り組みが必要です。

- ①予防保全や更新の実施
- ②機能向上の実施
- ③取り巻く環境の変化への対応
- ④インフラ管理への理解促進の取り組み

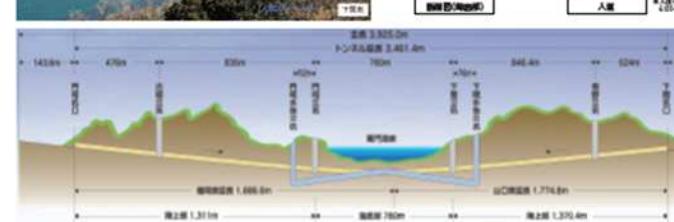
引き続き関門トンネルを安全・安心にご利用いただくためには現行料金に加えて、追加的な利用者負担についても検討が必要となっています。

これからも安心して、ご利用いただけるように 関門トンネルを未来につなぐ

ポスター

関門トンネルの構造・概要

概要	山口側下陸付・鹿児島県九州市
所在地 (立地)	山口側下陸付・鹿児島県九州市
道筋名	一般国道2号
本支線管理者	国土交通省
開通年	昭和33年(1958年)3月(開通から67年)
全長/トンネル延長	9.025km / 3.481km(うち海底部780m)
最高限速	2車線(歩道通行)
通行料金	160円(普通車)



本州と九州をつなぐ大動脈として開通し、現在も多くの車両を通じて運営されています。開通から67年を迎え、隧道内は年々老朽化が進んでいます。

関門トンネルの特性

関門トンネルは特殊な構造を持つ海底トンネルで、大きな静圧、海水浸食等を抱えています。利用者の多くに安心して通行いただけるためには、定期的な点検や換気、海水浸食等の更新が求められます。また、定期的な点検や換気等の手間がかかる場合は、車両の運転を停止する場合があります。

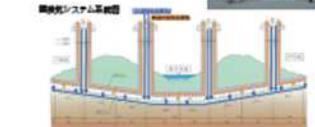
【技術的特徴】

- 世界で初めて海底を横断する構造を採用しました。
- 世界で初めて海底を横断する構造を採用しました。

【排水システム】

- 開通当初は雨水による漏水が問題でしたが、現在では排水設備により漏水が解消されています。
- 開通当初は雨水による漏水が問題でしたが、現在では排水設備により漏水が解消されています。

【排水システム】



【排水の様子】
開通当初は雨水による漏水が問題でしたが、現在では排水設備により漏水が解消されています。

【排水システム】



【排水の様子】
開通当初は雨水による漏水が問題でしたが、現在では排水設備により漏水が解消されています。

これまでの修理・リフレッシュ工事の状況



これまでの修理・リフレッシュ工事の状況

関門トンネルにおいては、これまでに多くの修理・リフレッシュ工事が行われてきました。特に、海底部では、定期的な漏水による漏水対策や、構造部の修理などが実施されています。

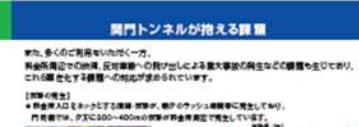
これからの管理・リフレッシュ工事の状況



これからの管理・リフレッシュ工事の状況

関門トンネルにおいては、これまでに多くの修理・リフレッシュ工事が行われてきました。特に、海底部では、定期的な漏水による漏水対策や、構造部の修理などが実施されています。

関門トンネルが抱える課題



多くの課題が抱えられています。主な課題としては、老朽化による構造部の劣化、漏水による漏水対策の難易度の高さ、定期的な修理・リフレッシュ工事の実施による費用負担などがあります。

【課題の発生】

- 開通当初は雨水による漏水が問題でしたが、現在では排水設備により漏水が解消されています。
- 開通当初は雨水による漏水が問題でしたが、現在では排水設備により漏水が解消されています。

【排水の様子】

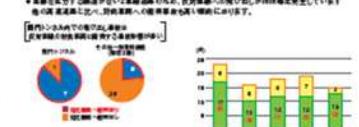
- 開通当初は雨水による漏水が問題でしたが、現在では排水設備により漏水が解消されています。
- 開通当初は雨水による漏水が問題でしたが、現在では排水設備により漏水が解消されています。

【排水の様子】



【排水の様子】
開通当初は雨水による漏水が問題でしたが、現在では排水設備により漏水が解消されています。

【排水の様子】



【排水の様子】
開通当初は雨水による漏水が問題でしたが、現在では排水設備により漏水が解消されています。

今後の管理では適切な時期の予防保全や更新が必須

今後の管理では適切な時期の予防保全や更新が必須

これら課題への対応が必要

リーフレット

4.追加的な料金負担への対応について

利用者への意見募集の実施

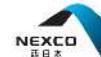


- 今後も関門トンネルを安全・安心にご利用いただくために必要な事業を着実に実施するには、通行料金の見直しが必要となっています。
- 新たな通行料金案に関して、広くご意見をいただいた上で、必要な手続きを進めてまいります。

◆意見募集（案）抜粋

（意見募集本文案）

「国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案」について



国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案を作成しましたのでお知らせします。また、本案に対して広く利用者の皆さまから意見を募集します。

○国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案

1. 新たな通行料金の背景

関門トンネルは、昭和33年に開通し弊社の前身である日本道路公団が管理を開始してから67年が経過しました。海底トンネルという特殊な構造上、大規模な排気・排水設備を有しており、その維持管理には多額の費用を要することから、維持管理有料道路の制度を活用し維持管理を行っています。関門トンネルの通行料金は、コスト管理を徹底するなどの取組みを行うことで、長期にわたり現在の料金水準を維持してきました。しかししながら、安全・サービスの維持向上、老朽化した構造物や設備の更新及び建設資材価格・労務費等の上昇など取り巻く環境の変化に対応しつつ、関門海峡の重要な交通機能を確実に確保していくためには、通行料金の見直しが必要となっています。

2. 通行料金等

(1) 料金の額

1回の通行に係る料金の額は、普通車の場合、現行の160円から令和8年6月に230円、令和12年頃に300円とし、利用者の急激な負担増を軽減するため、段階的に引き上げる案としています。なお、各車種の料金の額は以下のとおりです。
（税込）

期間	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	軽車両等
令和7年10月 ～令和8年5月 （現行料金維持）	110円	160円	210円	260円	420円	20円
令和8年6月 ～令和12年頃	160円	230円	300円	370円	600円	20円
令和12年頃～ （ETC導入時期を目標）	210円	300円	390円	490円	790円	30円

(2) 割引制度

- 障害者割引は料金引き上げ後も継続します。
- 回数券とその利用による割引は料金引き上げ後も当面の間、継続します。
- ETC導入後の割引については、現行回数券の割引と同程度の規模を念頭に引き続き検討してまいります。

※令和7年4月18日に公表された有識者により取りまとめられた提言「関門トンネルにおける今後の維持管理・修繕に関する検討委員会 中間とりまとめ」において、料金所部での渋滞緩和や利便性向上が必要とされました。この提言を踏まえ、キャッシュレス化・タッチレス化を推進し、お客様の利便性向上を図るために、下関側・門司側とともにETC設備を導入する計画としています。

皆さまからのご意見を伺った後、国土交通大臣へ事業変更許可申請を予定しています。引き続き、関門トンネルを安全・安心にご利用いただけるよう取り組んでまいります。

（意見募集要領案抜粋）

【ご意見の郵送先】

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ19階
「国道2号 関門トンネル料金改定」意見募集担当窓口

意見提出様式

（＊印の項目は必ずご記入ください）

氏名*	（ふりがな）
所属	（会社名、所属団体名）
住所	（部署名）
電話番号*	
電子メールアドレス	
ご意見*	
普段のご利用目的	<input type="checkbox"/> 通勤・通学利用 <input type="checkbox"/> 日常利用（通院・買い物等） <input type="checkbox"/> レジャー利用 <input type="checkbox"/> 業務利用

※取得した個人情報の管理につきましては、「個人情報保護規程」等により、紛失、改ざん、漏えい等の防止のための措置を講じ、個人の権利利益を保護いたします。

「国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案」について



国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案を作成しましたのでお知らせします。また、本案に対して広く利用者の皆さまから意見を募集します。

○国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案

1. 新たな通行料金の背景

関門トンネルは、昭和33年に開通し弊社の前身である日本道路公団が管理を開始してから67年が経過しました。海底トンネルという特殊な構造上、大規模な排気・排水設備を有しており、その維持管理には多額の費用を要することから、維持管理有料道路の制度を活用し維持管理を行っています。関門トンネルの通行料金は、コスト管理を徹底するなどの取組みを行うことで、長期にわたり現在の料金水準を維持してきました。

しかしながら、安全・サービスの維持向上、老朽化した構造物や設備の更新及び建設資材価格・労務費等の上昇など取り巻く環境の変化に対応しつつ、関門海峡の重要な交通機能を確実に確保していくためには、通行料金の見直しが必要となっています。

2. 通行料金等

(1) 料金の額

1回の通行に係る料金の額は、普通車の場合、現行の160円から令和8年6月に230円、令和12年頃に300円とし、利用者の急激な負担増を軽減するため、段階的に引き上げる案としています。なお、各車種の料金の額は以下のとおりです。

(税込)

期間	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	軽車両等
令和7年10月 ～令和8年5月 (現行料金継続)	110円	160円	210円	260円	420円	20円
令和8年6月 ～令和12年頃	160円	230円	300円	370円	600円	20円
令和12年頃～ (ETC導入※時期を目途)	210円	300円	390円	490円	790円	30円

(2) 割引制度

- ・障害者割引は料金引き上げ後も継続します。
- ・回数券とその利用による割引は料金引き上げ後も当面の間、継続します。
- ・ETC導入後の割引については、現行回数券の割引と同程度の規模を念頭に引き続き検討してまいります。

※令和7年4月18日に公表された有識者により取りまとめられた提言「関門トンネルにおける今後の維持管理・修繕に関する検討委員会 中間とりまとめ」において、料金所部での渋滞緩和や利便性向上が必要とされました。この提言を踏まえ、キャッシュレス化・タッチレス化を推進し、お客様の利便性向上を図るため、下関側・門司側ともにETC設備を導入する計画としています。

皆さまからのご意見を伺った後、国土交通大臣へ事業変更許可申請を予定しています。引き続き、関門トンネルを安全・安心にご利用いただけるよう取り組んでまいります。

「国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案」について

「国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案」の概要



<通行料金>

(消費税10%込)

期間	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	軽車両等 (人道含む)
R7.10～R8.5 (現行料金継続)	110円	160円	210円	260円	420円	20円
R8.6～R12年頃	160円	230円	300円	370円	600円	20円
R12年頃～ (ETC導入時期を目途)	210円	300円	390円	490円	790円	30円

※利用者の急激な負担増を軽減するため、段階的に料金を引き上げる案としています。

<割引制度>

- ・障害者割引は料金引き上げ後も継続します。
- ・回数券とその利用による割引は料金引き上げ後も当面の間、継続します。
- ・ETC導入後の割引については、現行回数券の割引と同程度の規模を念頭に検討してまいります。

(回数券割引率)

11回券	60回券	100回券
約9.1%	約16.7%	約20.0%

※キャッシュレス化・タッチレス化を推進し、お客様の利便性向上を図るため、下関側・門司側ともにETC設備を導入。

參考資料

関門トンネルの今後の対応について

【関門トンネルにおける今後の維持管理・修繕に関する検討委員会 中間とりまとめ（概要）から抜粋・編集】

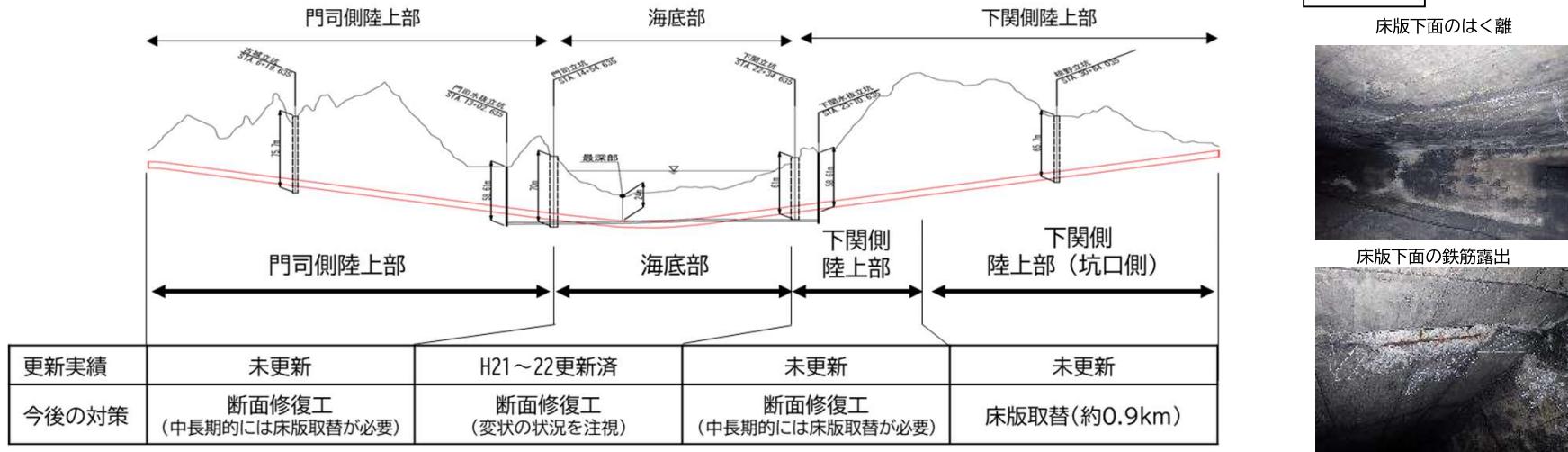
①予防保全や更新の実施					②機能向上の実施		③取り巻く環境の変化への対応		④インフラ管理への理解促進の取り組み																									
内容	今後も利用者負担を継続しながら、ライフサイクルマネジメントを意識した予防保全や更新を実施し、長期的な健全性を確保することが必要				必要な財源を確保した上で、安全性、走行性、利便性等の機能向上が必要		建設資材価格・労務費等の上昇等や将来生じる環境の変化に柔軟に対応することが必要		地域活性化の観点に加え、老朽化するインフラ管理への理解促進を図るためにも、理解促進の取り組みも継続的に実施することが必要																									
具体的な取り組み (写真はすべてイメージ)	<ul style="list-style-type: none"> 点検や詳細調査の継続的な実施 ライフサイクルマネジメントを意識した予防保全の実施 床版の一部や施設設備等の更新の実施 				<ul style="list-style-type: none"> 料金所部における渋滞緩和・利便性向上 トンネル内交通の整流化 車線区分構造の設置 視認性の向上 		<ul style="list-style-type: none"> 直近までの管理費の実績値等を参考に、適正な管理費用を計画に反映 将来の変化には適宜計画を見直しながら対応 必要に応じ、料金の見直しについても検討 		<ul style="list-style-type: none"> 土木遺産としての価値等を活かしたインフラツーリズムや、地域との連携活動を実施 																									
	<p>■床版取替</p>  <p>床版撤去</p>		<p>■料金所部における渋滞緩和・利便性向上</p> 		<p>■適正な管理費用を計画に反映</p>  <table border="1"> <caption>指数の推移（2025年2月調査）</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>今月</th> <th>過去月平均</th> <th>変動</th> <th>前月比</th> <th>年率変動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設・土木</td> <td>144.8</td> <td>144.8</td> <td>+0.2</td> <td>+0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設</td> <td>141.8</td> <td>141.1</td> <td>+0.0</td> <td>-1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運輸</td> <td>143.0</td> <td>143.0</td> <td>+0.6</td> <td>-3.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※出典：一般財団法人 経営開発会「経済調査研究所」 「建設・土木価格指数調査」</p>		指標	今月			過去月平均	変動	前月比	年率変動	建設・土木	144.8	144.8	+0.2	+0.1		建設	141.8	141.1	+0.0	-1.6		運輸	143.0	143.0	+0.6	-3.1		<p>■視認性の向上</p>  <p>■継続実施</p>  <p>2Mボンボン水 人感センサ</p> <p>インフラツーリズム例</p>	
指標	今月	過去月平均	変動	前月比	年率変動																													
建設・土木	144.8	144.8	+0.2	+0.1																														
建設	141.8	141.1	+0.0	-1.6																														
運輸	143.0	143.0	+0.6	-3.1																														

①予防保全や更新の実施

- 点検に基づく早期の断面修復・漏水防止等、ライフサイクルマネジメントを強化していきます。
- 下関側陸上部の床版は、変状の進行状況から今後床版取替を計画しています。

【床版取替】

点検結果・物性値調査等から、下関坑口側0.9kmの取替を実施



【本坑及び立坑等の覆工、側壁の補修】

コンクリートの浮きやはく離などの変状等に対して、断面修復や劣化進行の抑制のための漏水対策を実施



※写真は修復イメージ

①予防保全や更新の実施

- これまで部分補修で対応しており、未更新の施設設備も多い状況です。
- 点検結果を踏まえ、現時点未更新の設備を中心に、確実に機能が確保できるよう修繕・更新を計画しています。

<現時点で未更新となっている設備>

施設		
	トンネル照明設備	車道部・人道部・各立坑 照明灯具 交換（LED化）  
	トンネル非常用設備	泡消火栓 及び 手動通報機 の更新 水噴霧設備 ・ 消火ポンプ の更新 拡声放送設備 の更新 誘導表示板 の更新 避難連絡坑扉 の更新   
	トンネル排水設備	排水ポンプ の更新 ※設置からの経年数の違いにより、17基中11基は未更新 
	建築施設	料金所 及び 換気塔 の耐震補強・改修・改築 閥門プラザ（人道等管理施設）耐震補強・改修、 エレベータ 更新  

※更新済みである換気設備等についても、今後20年間で更新時期を迎えるものは更新を実施。

②機能向上の実施

- ・料金所部での渋滞緩和・利便性向上のためにETCを導入を計画しています。
- ・トンネル内での交通整流化や事故防止のためにLED表示板やラバーポールの設置を計画しています。
- ・視認性向上のためにLED照明への取替や視線誘導標を設置を計画しています。

【①料金所部での渋滞緩和・利便性向上（ETC導入）】

導入の効果

- ・一時停車し精算する手間が不要でスムーズな通過が可能
- ・タッチレス化・キャッシュレス化が実現でき、利用者の利便性は高い

<現金・回数券>



※イメージ写真

<現金・ETC>



九州自動車道 門司IC ※イメージ写真

【②トンネル内交通の整流化】

導入の効果

- ・上り坂を認識しやすい
- ・渋滞時には追突防止に関する内容を表示可能

<水平表示>



※イメージ写真

<LED表示板>



※イメージ写真

【③車線区分構造の設置】

導入の効果

- ・車線区分の視認性が向上
※物理的に車線逸脱を防ぐ効果はない

<路面標示のみ>



<ラバーポール>



※イメージ写真

【④視認性の向上】

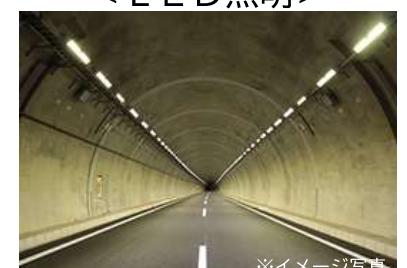
導入の効果

- ・視認性の向上によるドライバーの走行安全性・快適性向上

<蛍光灯等照明>



<LED照明>



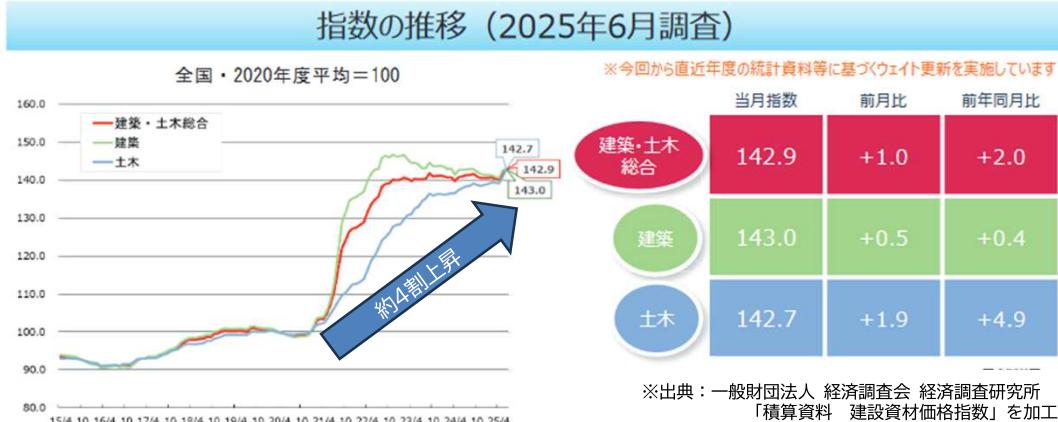
※イメージ写真

※今後詳細設計等で詳細な内容が変わる可能性がある。

③取り巻く環境の変化への対応

- ・近年、建設資材価格・労務費ともに大幅な上昇傾向であり、過去5年間で約2～4割上昇しています。
- ・これらの価格上昇は今後の管理コストに影響するため、適正な管理費用を計画に反映する必要があります。

◆建設資材価格指数



令和2年度 → 令和6年度
約4割上昇

◆公共工事設計労務単価



令和2年度 → 令和7年度
約2割上昇

平成24年度 → 令和7年度
約9割上昇

※出典：国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課
「令和7年3月から適用する公共工事設計労務単価について」を加工

④インフラ管理への理解促進の取り組み

- ・老朽化するインフラ管理への理解促進の取組みを継続的に実施します。

インフラツーリズム開催例（令和6年12月）



マスコミプレスツアー開催例（令和7年8月）

参加者：16社26名（テレビ7社、新聞8社、ラジオ1社）



意見募集要領

「国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案」について

1. 意見募集対象 「国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案」について（PDFファイル）

2. 意見募集期間 令和7年12月23日（火）～令和8年1月9日（金）17:00

3. 意見送付方法

（1）ホームページからのご意見送付の場合

ホームページの意見提出フォームにご意見をご記入の上、募集期間内に送信して下さい。
(なお、こちらのページは通信内容を保護する措置を講じています。)

（2）郵送の場合

意見提出様式（PDFファイル）にご記入の上、下記まで送付して下さい。（募集期間最終日必着）
〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ19階
「国道2号 関門トンネル料金改定」意見募集担当宛

4. 注意事項

- ・電話によるご意見の受付は対応致しかねますので、予めご了承下さい。
- ・皆様から頂いたご意見につきましては、計画の検討の参考とさせて頂きます。
なお、ご意見に対しての個別の回答は致しかねますので、予めその旨ご了承願います。
- ・頂いたご意見の内容につきましては、公開される可能性があることをご承知おき下さい。
(氏名、連絡先等の個人情報は除きます。)

5. お問い合わせ先

窓口	NEXCO西日本 お客さまセンター
電話番号	0120-924-863 (フリーダイヤル) (24時間) 又は 06-6876-9031 (フリーダイヤルがご利用できないお客様)

【ご意見の郵送先】

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 1-6-20 堂島アバンザ 19 階
「国道 2 号 関門トンネル料金改定」意見募集担当宛

意見提出様式

(*印の項目は必ずご記入ください)

氏 名 *	(ふりがな)
所 属	(会社名、所属団体名) (部署名)
住 所 *	
電話番号 *	
電子メールアドレス	
ご意見 *	
普段のご利用目的	<input type="checkbox"/> 通勤・通学利用 <input type="checkbox"/> 日常利用（通院・買い物等） <input type="checkbox"/> レジャー利用 <input type="checkbox"/> 業務利用

※取得した個人情報の管理につきましては、「個人情報保護規程」等により、紛失、改ざん、漏えい等の防止のための措置を講じ、個人の権利利益を保護いたします。